

(様式1)

大 学 名	筑波大学	学 問 分 野	学際,複合,新領域
専 攻 等 名	人間総合科学研究科 体育科学専攻,スポーツ医学専攻		
拠点のプログラム名称	健康・スポーツ科学研究の推進		
拠点リーダー氏名	西平賀昭	所属部局・職	人間総合科学研究科・ 体育科学専攻・教授
プログラムの概要	本プログラムは,(1)幼少児から高齢者までの運動能力に応じたスポーツ・運動プログラムの開発,(2)健康生活のためのテラー・メイド運動処方確立,(3)トップアスリートの競技力向上の3つのプロジェクトを通して世界的研究教育拠点づくりを目指す。		
拠点形成の目的・必要性	体育科学専攻とスポーツ医学専攻との共同申請である「健康・スポーツ科学研究の推進」は,前身校の東京教育大学以来の伝統をもつ体育分野と,改組再編に伴い新たに設置されたスポーツ医学分野との緊密な協力によって,基礎的・実践的問題に対応できる世界的な拠点づくりを目指すものである。本プログラムが実現すれば,さらにより体系的な取り組みが可能となり, facultyや研究・教育内容をより充実させ,健康・スポーツ科学の分野で国際的に活躍できる研究者を育成することによって,世界の研究者や学生の目標となる研究教育の拠点づくりを目指す。		
研究拠点形成実施計画	本プログラムでは,以下の3つのプロジェクトを柱として研究の推進をはかる。 (1)幼少児から高齢者までの運動能力に基づく生活活性化のためのスポーツ・運動プログラムの開発:心身の発達や老化過程を考慮し,脳科学を基盤とした全身の運動調節機構を明らかにする。 (2)人間の健康生活の向上のためのプログラム開発とテラー・メイド運動処方確立のためのスポーツ医学的研究:個人の特徴を考慮した健康増進プログラムを開発し,生活習慣病一次予防をはかる。 (3)トップアスリートの競技力向上をはかるトレーニング法の確立:動作解析やスポーツ技術の最適化モデルの確立を通してスポーツの科学化を推進する。		
教育実施計画	(1)大学院教育の工夫:大学院生は3つのプロジェクトのいずれかに参加して研究し,研究進展と共に学位取得という教育上成果が並列的に進行するシステムを構築する。定期的な研究報告会以外にセミナーを開催し,国内外の一流研究者による講演と大学院生との討論を企画する。研究意欲を高めるために大学院優秀論文賞を設立し,先端性,先駆性,国際性の3つの観点から論文賞を授与する。 (2)若手研究者育成の工夫:学系内プロジェクト制度より,優れた若手教官に対し予算的に支援し,研究成果を国内外の学術雑誌への掲載を義務づけ,リーダーとなれるよう育成する。若手教官を副指導として登用し,若手教官が研究指導の経験を積み,研究遂行能力と教育指導能力を兼ね備えたリーダーとなれるよう育成する。		

運動能力に応じたスポーツ・ 運動プログラム

幼少児から高齢者までの
心身の制御能力

活動的ライフの延長

生活習慣病一次予防

スポーツ振興

健康生活のための
テラー・メイド運動処方

トップアスリートの
競技力向上